

令和6年度 地域研修(奈良県) 地域研修カリキュラム

(1) オンデマンド講義(LMSを利用) 視聴期間:10月4日(金)～11月5日(火) 受講必須:8.6時間

基礎的な内容の単元 応用的な内容も含む単元 受講必須 受講任意

区分	単元		R5 受講	単元の概要	時間 (目安)	講師	単元の学習目標
災害対応業務全般	1	防災行政概要	●	防災活動全体の流れについて学ぶ。	19分	鈴木 毅 (元 内閣府)	・防災に関する業務全体を俯瞰し、各業務の概要・位置付けを説明できる。
	2	災害法体系と災害対策基本法の概要	●	災害関連法の体系について学ぶ。	14分	佐々木 凜太郎 (内閣府)	・災害関連法の体系と災害対策基本法の概要を説明できる。
	3	防災計画の概要	●	防災関連計画について学ぶ。	15分	沖 麻未 (内閣府)	・防災基本計画、地域防災計画、業務継続計画等の概要を説明できる。
災害時の 応急活動	4	応急活動・資源管理総論	●	応急活動の流れと資源管理に関する基本的な考え方について学ぶ。	64分	宇田川 真之 (防災科学技術研究所)	・応急活動の流れと業務の概要について説明できる。 ・ロジスティクスの考え方について説明できる。 ・応急活動と求められる資源管理について説明できる。
	5	地方公共団体間の相互応援と受援体制	●	災害時の行政機関の間で行われる応援受援の仕組みと受援体制について学ぶ。	39分	豊泉 英明 (内閣府)	・応急活動の実施にあたっての行政職員の確保の重要性を説明できる。 ・行政機関の間で行われる応援受援の仕組みを説明できる。 ・行政機関の応援受援を円滑に行うための留意点を説明できる。
			●		7分	原 章仁 (内閣府)	
			●		29分	伊藤 哲也 (総務省)	
			●		53分	田代 崇憲 (大野城市)	
	6	災害廃棄物処理	●	被災地における資源確保の例として、災害廃棄物の撤去・処理の進め方と留意点を事例に基づき学ぶ。	23分	鳥居 ほのか (環境省)	・災害廃棄物処理の概要を説明できる。 ・災害廃棄物処理における資源管理と応援受援を説明できる。
			●		40分	渡邊 高之 (常総市)	
	7	救援物資の調達	●	救援物資の調達に関する実務と課題について学ぶ。	37分	西室 幸徳 (コメリ災害対策センター)	・救援物資の民間企業・団体からの調達の実態について説明できる。 ・救援物資を民間企業・団体から円滑に調達するための留意点を説明できる。 ・救援物資を民間企業・団体から円滑に調達するための備えを説明できる。
	8	救援物資の輸配送	●	救援物資の輸配送に関する実務と課題について学ぶ。	31分	森下 侑里香 (佐川急便)	・救援物資の輸配送の実態について説明できる。 ・救援物資の輸配送を民間企業・団体と連携して行う際の留意点を説明できる。 ・救援物資の輸配送を円滑に行うための事前の備えを説明できる。
被災者への 支援	9	災害救助法と被災者生活再建支援法	●	被災者支援における災害救助法と生活再建支援法の位置づけや手続き、適用事例を学ぶ。	34分	安東 和繁 (元 内閣府)	・災害救助法の概要について説明できる。
			●		18分	津軽 承熙 (元 内閣府)	・被災者生活再建支援法の概要について説明できる。
	10	避難所の開設・運営の概要	●	避難所の開設・運営について学ぶ。	15分	伊藤 靖晃 (元 内閣府)	・避難所の設置主体や役割を説明できる。 ・発災前に考えるべき避難所開設・運営の業務を説明できる。 ・発災後に考えるべき避難所開設・運営の業務を説明できる。
	11	生活再建支援業務	●	生活再建支援業務を学ぶ。	77分	小島 健太郎 (新潟県) 辻野 満 (元 内閣府) 佐藤 和彦 (元 東京都豊島区) 田崎 貴大 (東京都豊島区) 齊藤 すわみ (元 東京都豊島区)	・生活再建支援業務の全体像について説明できる。 ・災害に係る住家の被害認定調査の概要について説明できる。 ・災害の被害認定調査の課題について説明できる。 ・罹災証明書の発行業務について説明できる。 ・罹災証明書の発行業務の実際について説明できる。 ・被災者台帳の構築について説明できる。 ・生活再建支援業務の平時からの取組～豊島区の事例～について説明できる。

(2) リアルタイム研修(対面形式) 開催日:11月6日(水) 9:30～17:00 会場:奈良県庁 東棟2階 災害対応スタッフ室

時間	単元		単元の概要	時間 (目安)	講師等	学習目標
09:30 ～09:40	-	(オリエンテーション)		10分	(事務局)	
09:40 ～10:35	1	【講義】 地域の災害特性	地域の災害特性(地域の脆弱性含む)、想定される被害状況とその発生メカニズムを学ぶ。	55分	本多 敏幸 (奈良地方气象台)	・地域の災害特性と想定される被害の概要を説明できる。
10:35 ～10:45	-	(休憩)		10分		
10:45 ～12:25	2	【演習】 災害時の県と市町村の業務	ワークショップを通じて、県と市の業務を学ぶ。	100分	竹本 加良子 (サイエンスクラフト) 大原 美保 (東京大学大学)	・応援要請や応援受入れ時の市町村の役割を理解できる。 ・市町村による応援要請における県の役割を理解できる。
12:25 ～13:25	-	(昼休み)		60分		
13:25 ～14:00	3	【講演】 災害対応の実態と課題	令和6年能登半島地震時の応援受援の実体験を踏まえた講演及びインタビューから、応援受援の実態と課題を学ぶ	35分	米津 浩幸 (奈良県)	・応援受援の実態や課題が説明できる。
14:00 ～14:10				10分	黒田 篤史 (穴水町)	
14:10 ～15:10	4	【トークセッション+講義】 災害対応の実態と課題のポイント	トークセッション形式で講演者の方と応援受援の理解を深める。	60分	米津 浩幸(奈良県) 黒田 篤史(穴水町) 大原 美保 (東京大学大学)	・受援のポイントが説明できる。
15:10 ～15:40			1～3限目の講義・演習を踏まえて、補足の講義をいただく。	30分	大原 美保 (東京大学大学)	
15:40 ～15:50	-	(休憩)		10分		
15:50 ～16:50	5	【演習】全体討論	研修全体を通じて学んだことから、地域の防災力向上や備えに反映させるべきことを受講者間で考える。	60分	事務局 大原 美保 (東京大学大学)	・研修を通じて、学び、得たものを整理する。 ・日頃からの「備え」につなげることを認識する。
16:50 ～17:00	-	(閉講)		10分	(事務局)	